



## つかみとれ 一生の絆!



10月31日、テルテル坊主の願いもむなしく、雨天延期となった第79回体育大会。落ち込んだ様子を見せる人たちもたくさんいましたが、気持ちを切り替えて迎えた本日、体育大会を無事実施することができました。日程変更になったにもかかわらず、たくさんの保護者の方や地域のご来賓の皆さまに来ていただいたことを本当にうれしく思います。多くの方に見守られる中で子どもたちは、自身のやるべきことに全力で取り組んでいました。力強い選手宣誓もみんなが本気で頑張ろうという心に火をつけてくれました。

開会式の時に次のような話をしました。「1年生は初めての体育大会、遠慮せずに自分の持てる力を発揮し、そのうえで先輩たちの動きをしっかりと見てほしい。2年生は、いよいよ一つ一つの行事が終わるたびに野田中学校の中心になっていきます。しっかりとバトンを受け継ぎ、さらに成長するきっかけにして欲しいと思います。3年生は中学校生活最後の体育大会となりました。今までも、そしてこれからも何かをするたびに”最後の”という言葉が付いて回るのだと思います。しかし、校長先生は最後の体育大会だから頑張れというつもりはありません。それはなぜか、みんなには〇〇だから頑張るという風に理由がないと頑張れない人にはなってほしくないからです。今やらなくてはならないことが目の前にある。だから全力で頑張る。損得抜きに一生懸命、無我夢中にまっすぐに頑張ることができる。そういう人になって欲しいと願っています。どうか今日の体育大会もそういう気持ちと頑張っている人を正しく認める気持ちをもって最後はスローガンにあるように、一生の絆をつかみとってほしいと願っています。頑張ってください。」と。そして、皆の思いが一つになって始まった体育大会は、一人一人が競技・演技・応援、そして係の仕事と一つ一つに全力で取り組んでいました。一つ一つの競技は、もちろん、学年種目や縦割り種目も大変見ごたえがありました。

1年生の「台風の子」、4人一組で長い棒を持ち、遠心力に負けないようにコーンを回り、最後は待っている人たちの足元と頭の上を通してバトンパスするという種目でした。足に当たっていたそうにしている人もいましたがみんな楽しそうに行っていました。1年生の学年主任の先生からは”新たなうねりと変革”を起こしていきます。とのお話がありました。2年生の学年種目は「UFO」。これも4人一組になって背中合わせにボールを挟み、リレーする競技でした。また、縦割り種目のスウェーデンリレーや3学年合同の綱引き・玉入れ・二人三脚リレーも本当に盛り上がりしていました。全般を通じて感動したのは誰もが手を抜いていないこと、そしてその頑張っている人にクラスや学年を超えて暖かい声援を送っていることでした。

閉会式ではそのことに加え、次のような話をしました。

「今日の体育大会は入場の段階での気合の入った掛け声、堂々とした行進、その姿を見た時に成功間違いないと確信しました。そして、最後を飾ってくれた3年生の「南中ソーラン」。「ソーランの振り付けは中学生であればちょっと頑張れば必ずできるようになります。隊形も練習すれば覚えることができます。でも踊ることができて形が整ったとしても人は感動しません。では、今日の3年生のソーランに感動したのはなぜか？それは君たちの顔つき、目つきといった表情を見て感動したのです。やり切ってやろう。気持ちを伝えようという本気の思いが顔に、声に現れたときに見ている人たちは感動をするのです。まさにそんなソーランを3年生は演じてくれました。来年、2年生に今から期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さま、少し肌寒い中でしたが、心からの応援、本当にありがとうございました。これからも子どもたちとともに様々なことに挑戦していきます。今後ともよろしくお願いいたします。